

(資料4)

新しい時代の特別支援学校の 在り方検討委員会

徳島県教育委員会

特別支援学校の現状と課題

- 1 国における特別支援教育の現状
- 2 徳島県における特別支援学校を取り巻く状況とこれまでの取組
- 3 特別支援学校を取り巻く課題と検討事項

1 国における特別支援教育の現状

特別支援教育制度への転換

平成19年4月：特別支援教育の本格的実施

- それまでの特殊教育から「一人一人の教育的ニーズ」に応じる「特別支援教育」へ制度転換
- 盲・聾・養護学校から特別支援学校へ

平成24年7月：共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築のための方向性を明示

- 就学先決定の在り方
- 合理的配慮、基礎的環境整備
- 多様な学びの場の整備
- 教職員の専門性向上 など

共生社会をめざす方針が明確化

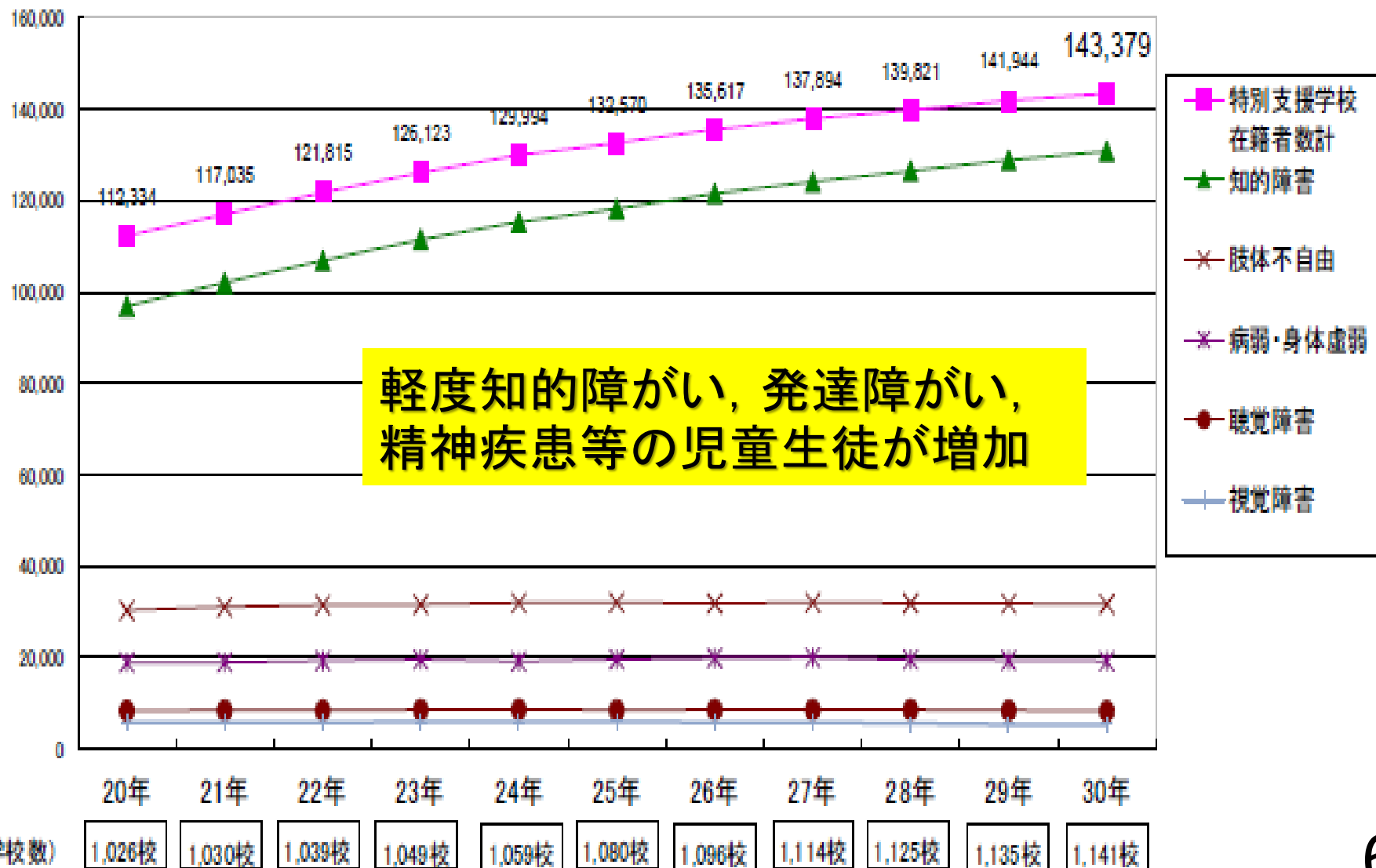
- 共生社会の実現は最重要課題
 - 障がい者を含めて誰もが相互に尊重
 - 多様な在り方を認め合う全員参加型社会
- そのためのインクルーシブ教育システム
 - 同じ場で共に学ぶとともに
 - 個別の教育ニーズに応じた教育の提供



障がいのある児童生徒が地域の中で活躍する、ダイバーシティな社会をめざすことが求められている。

知的障がい特別支援学校の在籍者数増加

特別支援学校(幼稚部・小学部・中学部・高等部)在籍者の推移



2 徳島県における特別支援学校を 取り巻く状況とこれまでの取組

H19年 特別支援教育の在り方検討委員会

特別支援学校の適正配置が完了

池田支援学校

池田支援学校美馬分校

鴨島支援学校

板野支援学校

国府支援学校

視覚・聴覚支援学校

みなと高等学園

ひのみね支援学校

阿南支援学校

阿南支援学校ひわさ分校

池田支援学校の本校化

池田支援学校美馬分校

・県西中央部の特別支援教育の充実

徳島視覚支援学校
徳島聴覚支援学校

みなと高等学園

・視覚、聴覚障がい教育の専門性を発揮

・発達障がい教育の充実

みなと高等学園の充実・進化



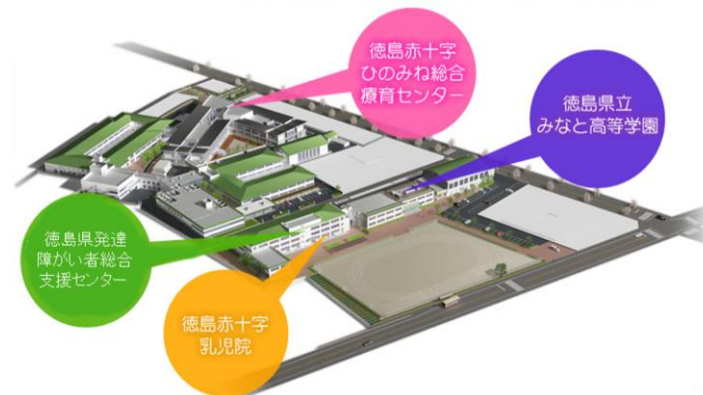
・技能検定を創設
とくしま特別支援学校
技能検定が拡大
(5分野10種目)

・令和元年度
学校見学・県外視察
40件612名

みなと高等学園



・発達障がい教育の充実



・ハナミズキゾーン



・6次産業化
「おはぎ作り」

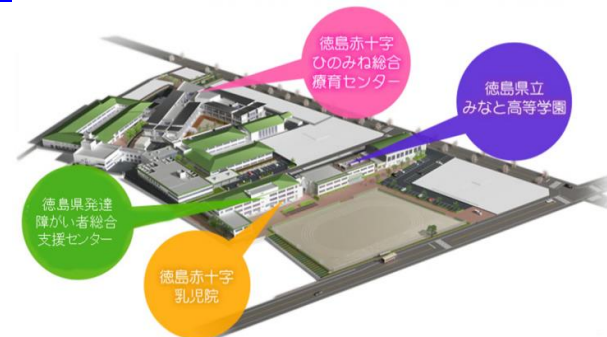


・就職を希望する生徒の
就職率100%

徳島県教育振興計画第2期に基づく取組

- 発達障がい教育の推進

- みなと高等学園, ハナミズキゾーン



- 特別支援教育の相談支援体制の整備

- 特別支援教育コーディネーターの充実

- 特別支援教育巡回相談員活動の展開



- 就労支援の充実

- とくしま特別支援学校技能検定の創設

- ゆめチャレンジフェアの開始

(現ゆめチャレンジフェスティバル)



徳島県教育振興計画第3期に基づく取組

● 児童生徒が地域で活躍できる取組

- － 四国霊場札所でのお接待
- － 地域の企業との連携
- － 地域での作品展



● 就労支援の推進

- － 技能検定、技能甲子園
- － ゆめチャレンジフェスティバル

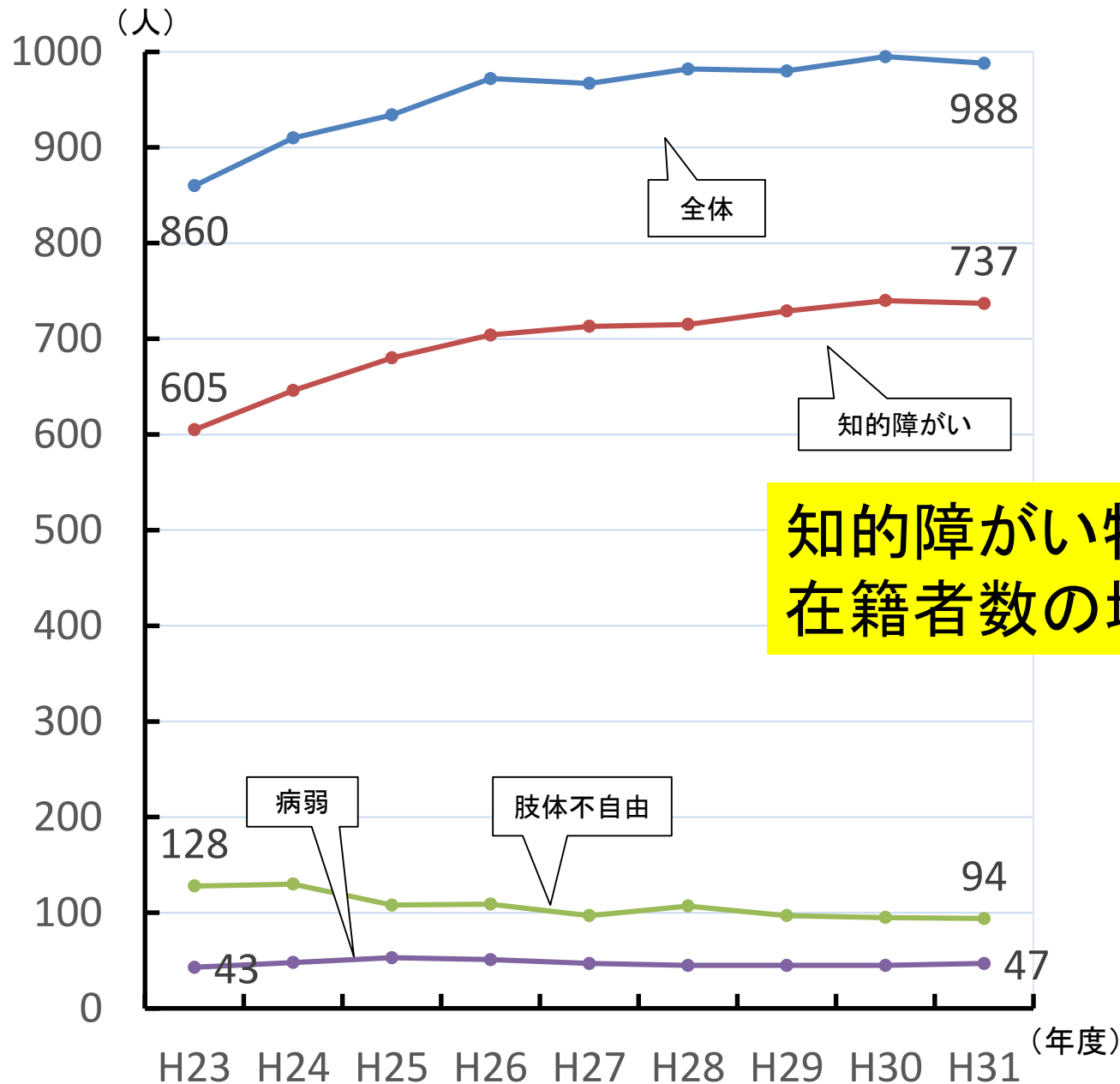


● 文化・スポーツでの才能の開花

- － きらめきアート展
- － スポーツ

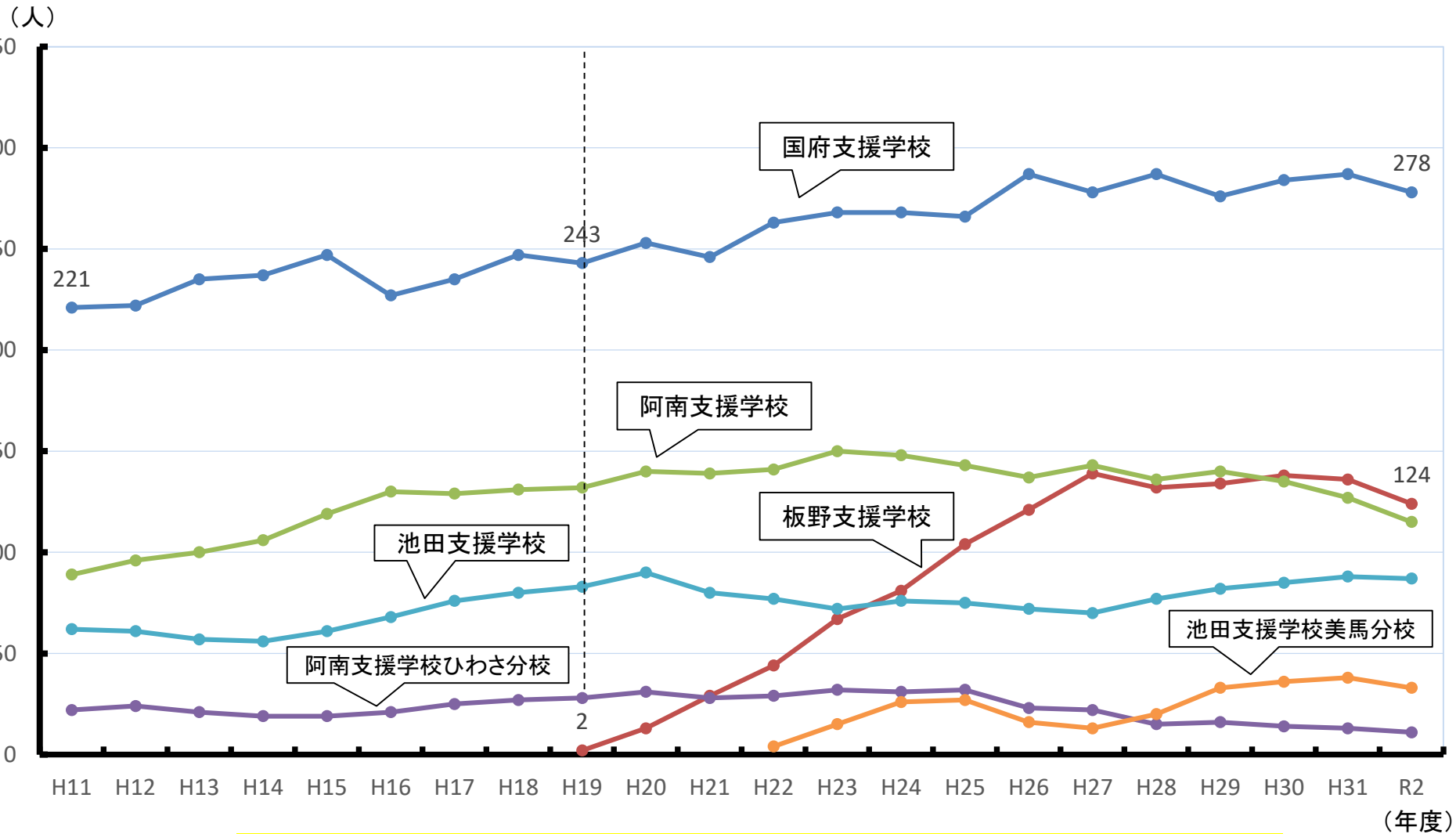


県立特別支援学校の在籍者数増加状況



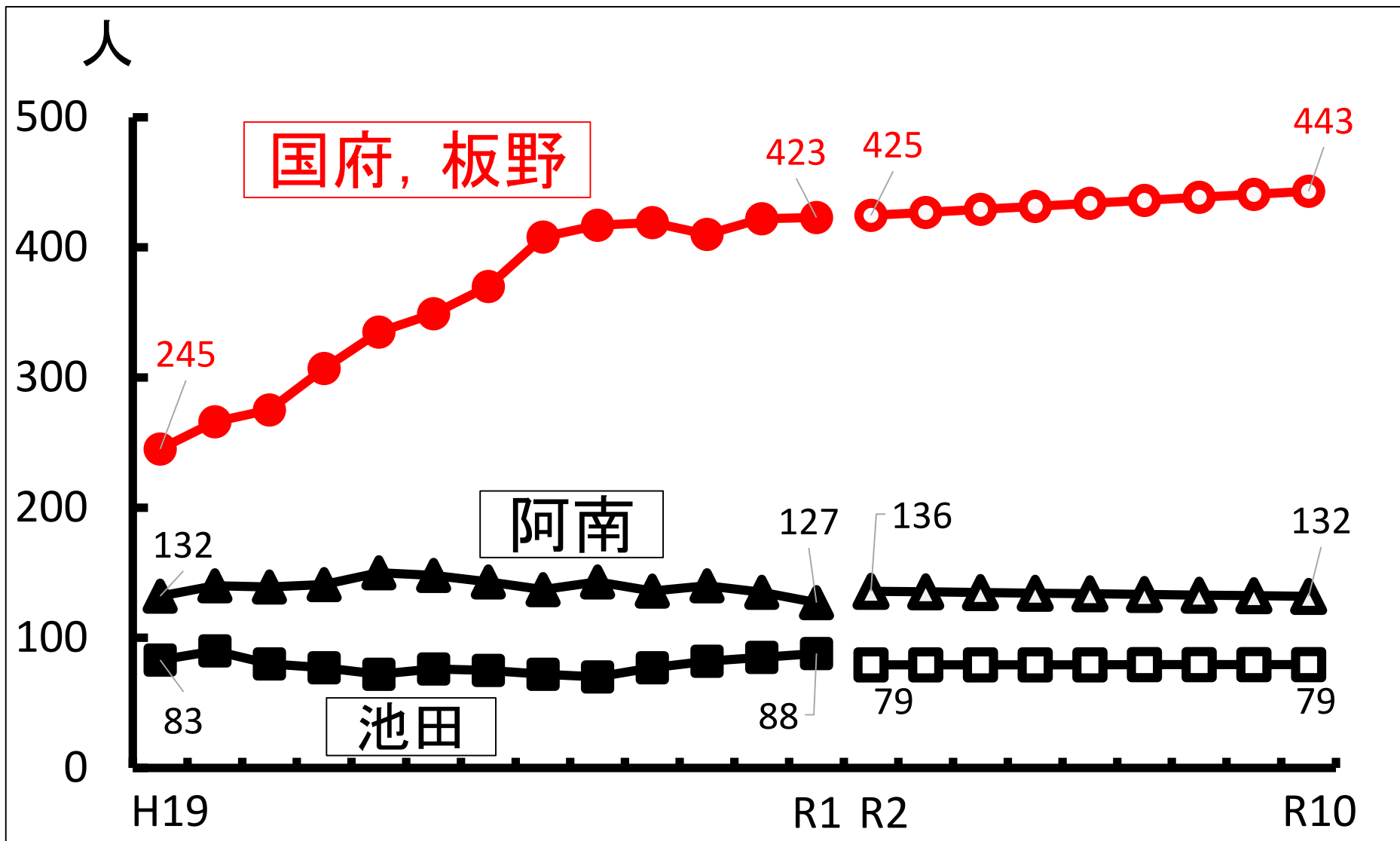
知的障がい特別支援学校の
在籍者数の増加

知的障がい支援学校の在籍者数増加状況



国府支援学校と板野支援学校において、
児童生徒数増加による狭隘化が進行

国府・板野支援における今後の在籍者予測



特別支援学校の狭隘化の状況



小学部教室の使用状況



教室で音楽や体育を実施



2学級で1教室を使用



特別教室の利用(美術室)



特別教室の利用(音楽室)

特別支援学校における
教室不足の状況
徳島県不足教室数
「25」

内訳 国府支援 12
板野支援 6
池田支援 4
阿南支援 3

(文科省調査R1.5.1現在)

県立学校の長寿命化改修事業

進行する校舎老朽化



外壁の劣化



コンクリートの破損

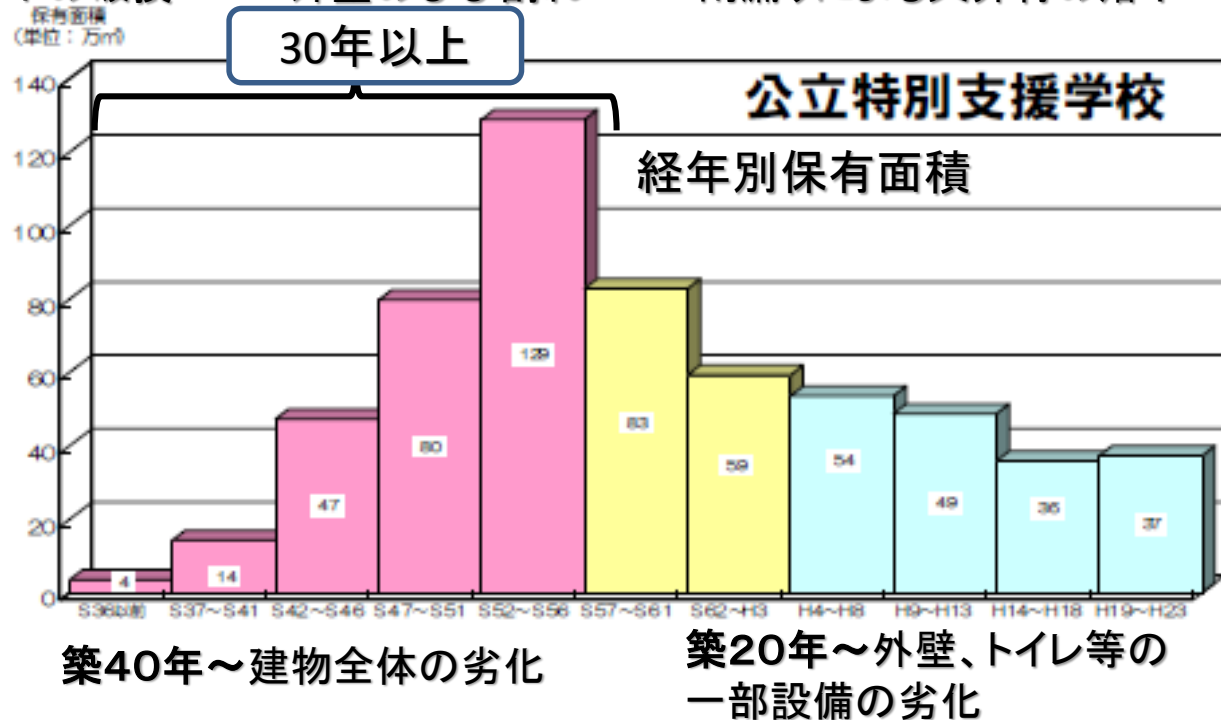


外壁のひび割れ



雨漏りによる天井材の落下

- 平均約42年で改築
- 国府支援学校
昭和49年完成、築46年
- 板野支援学校
昭和55年完成、築40年
- 今後、特別支援学校を
対象に長寿命化改修を
検討



令和元年度から
事業開始

長寿命化改修

予防的な改修

多様化する障がいへの取組

- 発達障がい等の指導に関する特別支援学校
コンサルテーション
 - 事例研究の実施と専門家による助言
- みなと, 板野, 鴨島支援学校での病弱(精神疾患等)の受入と教育的対応の拡大
 - 精神疾患に対する指導ノウハウの蓄積
- 「ポジティブな行動支援」に基づく教育の推進
 - 学部や学校全体での取組, 不登校支援など



学校間をネットワークで結んで
専門性を共有する必要性

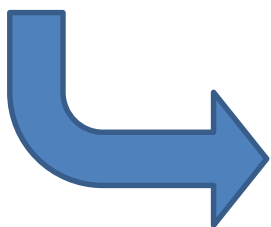
新たな徳島教育大綱

- 令和元年8月策定

重点項目Ⅲ

一人ひとりが輝く！多様性を育む教育の推進

障がいの有無等にかかわらず、全ての人が安心して暮らし、自立しながら支え合い、個性や能力を発揮して活躍し続けられる「ダイバーシティとくしま」の実現



特別支援学校が「ダイバーシティとくしま」のモデルとなる取組の推進が求められている。

3 特別支援学校を取り巻く課題と 検討事項

特別支援学校を取り巻く課題

- ①「ダイバーシティとくしま」の実現をめざして、
児童生徒が地域で活躍できる「新たな教育内容」
の創造が必要
- ② 児童生徒の増加に伴う施設の狭隘化，老朽化，
及び「新たな教育内容」を支える
施設整備の方針が必要
- ③ 全ての特別支援学校において，発達障がいや
精神疾患など多様化する障がいに対応
できる専門性の確保が必要

この会議で検討いただきたい事項

①地域を学習の場とする「新たな教育内容」

- ・児童生徒が地域の中で活躍しつつ学びを深める教育のアイデア
- ・在学時から卒業後の地域移行に向けた福祉施設等との協働

②狭隘化・老朽化への対応をチャンスと捉えた「教育環境整備」

- ・児童生徒の地域貢献活動や職業スキル向上を支える施設
- ・知的障がい特別支援学校における施設整備モデル

③学校間で専門性を確保する「特別支援学校間ネットワーク」

- ・ICT等を活用した学校間ネットワーク構築の方策
- ・児童生徒の相互交流の促進に向けたネットワークの活用